

St. Luke's International University Repository

Nursing Expertise for Elderly Society.

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井部, 俊子, Ibe, Toshiko メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.34414/00015016

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



第12回聖路加看護学会学術大会シンポジウム

少子高齢社会を生き抜く知恵と技

Nursing Expertise for Elderly Society

井部 俊子¹⁾

少子高齢社会はケアの時代でもある。看護は保健医療福祉を横断して、あらゆる「ケア」のなかで最も広範囲にかつ独創的に人々へのケアを届けることのできる職業である。

シンポジストの惣万佳代子さんは、「世代を越えた生活の場」を“このゆびと一まれ”を拠点として提供している。小宮山恵美さんは、「地域におけるサポートシステムの提供」を、行政の保健師として行っている。そして、得居みのりさんは、「高齢者・家族の力を引き出す実践」を、老人専門看護師として、病院の地域医療連携室から発信している。

それぞれのシンポジストの実践報告を通して、現代の少子高齢社会に起こっていることを確認し、時代のもつ価値観と人々がどの方向に向かっているかを認識するとともに、われわれも含めて、これからの社会を生きていく知恵と技を看護職の知恵として世の中に伝承していく機会とすることが、本シンポジウムのねらいである。

各シンポジストの発言内容は本人の報告にゆずるとして、会場でくり広げられた全体討議から、われわれが記憶すべきやりとりを整理して報告したい。

1. 惣万さんのやっている“このゆびと一まれ”という施設

この施設はお年寄りと障害者が一緒に過ごしてもいいという所なのである。今までは一つ屋根の下はだめで、建物は全部別にならなければならなかった。特区の時は特別区域だけが認められていたのだが、法律になったので全国展開したのである。全国展開したのだけれどまだ基準該当なのである。障害者の部分だけは基準該当なものだから、結局、障害者自立支援法が使えない。市が認めなければ、国が認めているのに市が認めない所があり市町村の格差が大きい。

このような富山型デイサービスは富山県に55ヶ所ある。全国では約半分の県が行っている。東京都では江東区にある。東京都は行政が固く基準該当を認めていない。

富山県は保守王国だが案外やわらかで、8年間ずっとけんかをしてきたが今では気持ちが悪いくらい仲良くなって、私たちも行政の力を借りるし、行政も私たちの力を借りている。

2. 東京都北区の行政保健師として（小宮山さん）

北区はグループホームが6ヶ所できていて、認知症のデイサービスも10数ヶ所できているが、差額を払うのが年金生活者では負担になるので利用ができていない。行政としては3地域包括、12地域包括などで地域づくりや認知症ケアができれば住みやすい町になっていく。その意味では、“このゆびと一まれ”のようなところが拠点となって地域の活性化につながっていくといいと思う。でも、手を挙げる事業者や住民の声が届かない。もつと実態を住民に示していかなければならないと思う。

北区は、中学3年生までの医療費の無料化を早くからうち出しているし、高齢者虐待防止センターを平成18年4月から始めて、タイムリーな関わりをさせてもらっている。区長から区のPRをするように言われてきた。

3. 区長と保健師の距離（小宮山さん）

3階上に区長がいるので、かなり遠い存在だが、管理職が逐次報告してくれる。私は「係長」で「主査」というポジションにいる。保健師で区に入り、主任主事の試験を卒後7年で受け、その5年後に主査試験を受けた。それを経れば管理職の試験が受けられるので23区ではぼつぼつと保健師の管理職が出てきている。

4. 退院支援（得居さん）

私が行っている「退院支援」ということに看護師が携わる意味があると思う。特に病棟看護師と訪問看護ステーション、他の病院や施設との看護連携、そうしたことが退院の生活に影響を及ぼす。老人看護CNSとして仲間づくりやシステムづくりをしていきたい。

1) 聖路加看護大学

5. 惣万さんの訴え

介護保険は利用者本位なのである。ほとんどの看護師は家族に同情して病院や施設を紹介している。本人はうちに帰りたいと言っているのに。これからは病院や施設はないと思ってほしい。これからはまず在宅に帰す。その努力をしてほしいと思う。

退院許可が出たときから、看護師は「患者さん」とい

う呼び方はしないほうがいい。何と呼べばいいのかというと、「地域住民」と言えばいいと思う。「富岡町の惣万さん、富岡町に帰るのですよ」という。そう言えばマイルドコントロールされる。

というわけで、3人の個性豊かなプレゼンテーションの一端を再録しました。シンポジウムに参加して下さった「地域住民」の皆さんに感謝します。